

あぐりまにわ



美作県民局農林水産事業部
真庭農業普及指導センター

表紙の写真説明

実務研修生に栽培指導(左上)

真庭地域のぶどう産地では、「新規就農者の確保と育成(写真)」、「品質向上と産地規模拡大」、「販売力強化」を目指し、担い手受入体制の整備や栽培技術講習会の開催、マーケティング活動等に取り組んでいます。

スマート農業研修会(右上)

真庭地域の水田農業では、ドローンやリモコン草刈り機等の中山間地域に適したスマート農業技術の普及(写真)を図るとともに、牛ふん堆肥やバイオ液肥等を活用した循環型農業を推進しています。

白ねぎの初期管理指導(左中)

真庭地域の白ねぎ栽培では、「真庭いきいき帰農塾」や「新庄・白ネギ・スクール」の開催により新規栽培者の確保・育成を図るとともに、講習会や巡回指導(写真)により栽培技術の向上や高品質安定生産に取り組んでいます。

花育活動(右中)

真庭地域は夏の切り花産地であることを知ってもらうため地元の小学生へ花育活動（フラワーアレンジメント体験）(写真)を実施しています。

税理士の話を聞く生産者(左下)

担い手の経営発展に向け、研修会(写真)や個別指導による経営管理能力の向上のほか、専門家と連携して法人化や労務管理の改善等の課題解決を図っています。

小学生が搾乳体験(右下)

ジャージー牛とのふれあい(写真)や搾乳等をとおして、県南の小学生にも酪農業を身近に感じてもらい、蒜山地域の酪農業の生産振興を図るため、食農教育を実施しています。

目 次

ページ

I 特集 高品質ぶどうの安定生産と次世代ぶどう産地づくり

- 【1】 ぶどう産地の発展に向けて活動しています・・・・・・・・・・ 2

II 地域の動き

- 【2】 真庭新農業経営者クラブ連絡協議会の活動紹介・・・・・・・・ 3
【3】 地域の生産者を動画で紹介しています・・・・・・・・・・ 3
【4】 酒粕を利用した「真庭雄町」で循環型農業をPR！・・・・・・・・ 4
【5】 真庭地域の花が夏を彩る！－新規栽培者確保の取組－・・・・ 4
【6】 簿記・税務研修会で経営改善を支援しています・・・・・・・・ 5
【7】 飲食店等営業許可や乾燥加工について研修会を開催しました・・ 5

III 技術の紹介

- 【8】 黒大豆における病虫害防除方法の検討・・・・・・・・・・ 6
【9】 蒜山の「イエローダイヤモンド®」安定生産に向けて・・・・ 6
【10】 白ねぎの生育促進に向けた腐植酸資材の実証・・・・・・・・ 7
【11】 夏秋トマト裂果軽減品種「桃太郎みなみ」の検討・・・・・・・・ 7
【12】 蒜山地域に適した牧草の草地実証・・・・・・・・・・ 8
【13】 登はん防止電気柵で食害を防げ！・・・・・・・・・・ 8

IV 新規就農者の紹介

- 【14】 はじめまして！よろしくお願いします ～新規就農者の紹介～・・ 9

V 受賞者の紹介

- 【15】 祝！受賞！おめでとうございます・・・・・・・・・・ 10

VI 新任農業士の紹介

- 【16】 令和6年度に農業士に就任された方をご紹介します・・・・・・・・ 13

真庭農業普及指導センターでは、トップ重点課題を「高品質ぶどうの安定生産と次世代ぶどう産地づくり」として、管内ぶどう産地を対象に新規栽培者の確保と育成、品質向上と産地規模の拡大、販売力強化に取り組み、生産者の所得向上と地域農業の活性化を図りました。

また、「地域農業を支える意欲ある担い手の育成・支援」と「先進的技術の確立・普及と力強い産地の育成及び支援」を活動の2本柱として、生産者の高度で多様なニーズに的確に対応するため、新規就農者や経営感覚に優れた経営体の育成、マーケティング戦略等による儲かる農業や農産物のブランド力強化、農作物の安全・安心の確保について推進しました。

I 特集 高品質ぶどうの安定生と次世代ぶどう産地づくり

【1】ぶどう産地の発展に向けて活動しています

「シャインマスカット」の全国的な面積増加や「ピオーネ」の価格上昇等、ぶどうを取巻く情勢は日々変化しています。真庭管内においても、ぶどうの栽培面積は毎年増加しており、今後も期待できる品目です。

普及指導センターは、管内の2つのぶどう部会（JA晴れの国岡山まにわぶどう部会（以下、まにわ部会）やJA晴れの国岡山びほくぶどう生産部会北房支部（以下、北房支部））、JA、真庭市と連携して、担い手の確保、果実品質向上と産地規模の拡大、販売力強化に向けた取組を推進しています。

① 新規栽培者のスキルアップ

ぶどう栽培歴が浅い生産者を対象に、「新規栽培者ステップアップ講座」を年6回、まにわ部会、北房支部それぞれで開催しています。先輩農家のほ場を会場として、参加者の早期技術習得を目的に実施しており、参加者からは「基本的な内容でも質問がしやすい」と好評です。また、技術習得だけでなく、他地区の生産者との交流も図れています。



ステップアップ講座

② 「ピオーネ」の着色改善

主力品種である「ピオーネ」の着色改善に向けて、新規植調剤「S-A B A（商品名：アブサップ液剤）」の実証試験をまにわ部会、北房支部それぞれで行いました。

「S-A B A」を着色始期に果房散布した結果、処理果房で着色向上効果が確認されました。しかし、ほ場によっては果紛溶脱が見られるもの、収穫後の日持ち性が劣るものが見られました。

適切な使用方法も含めて普及性について今後も検討していきます。



成熟期の果房

（上段：処理区、下段：無処理区）

③ マーケティングの取組

令和5年度に策定したマーケティング戦略をもとに、市場関係者向けのリーフレット作成や卸、仲卸等の市場関係者を招待する産地交流会を開催し、「まにわぶどう」をPRしました。また、産地の特徴として持続可能な循環型農業に取り組むため、バイオ液肥やペレットボイラーに関する研修会や、バイオマス発電所にせん定枝を供給する活動等を行いました。

引き続き、まにわ部会のマーケティング活動を支援していきます。



産地交流会

Ⅱ 地域の動き

【2】真庭新農業経営者クラブ連絡協議会の活動紹介

真庭新農業経営者クラブ連絡協議会では、毎年、栽培品目の枠にとらわれず、クラブ員が取り組んでいる様々な栽培技術や経営手法、日頃考えていることなどの情報交換を目的として、現地見学と交流会を開催しています。

令和6年度は、活動をより充実させるため、勝英新農業経営者クラブ連絡協議会員を招き、湯原地区クラブ員の施設見学と蒜山高原での交流会を行いました。

交流会では、それぞれの地域特産品をPRしたり、両地域のクラブ員相互に情報交換し、最後に、特産物を交換しました。

参加者からは、交流会を通じて、「他地域で頑張って農業経営をしている仲間がいる」、「地元や近隣地域の地域資源を使った魅力ある農産物や自然の恵みを再発見することができた」といった声がありました。

今後は、津山地域を加え、3地方協合同で交流会を行いたいと思います。



湯原ふあーむの施設見学



佐山牧場の牛舎見学

【3】地域の生産者を動画で紹介しています

真庭地域の認知度を高め、新規就農者を確保する取り組みとして、YouTube チャンネル「あぐりまにわ」を使って生産者の声を配信しています。

令和6年度は、トマト、白ねぎ、露地野菜複合、西条柿の4経営体を訪問し、農業経営の工夫や特徴、就農希望者に向けたメッセージを取材しました。

トマト経営では、「適切なかん水管理や病害虫防除により収益向上が見込める」、白ねぎ経営では、「安定した価格で販売できるため新規栽培者が増えている」等、それぞれの活動や経営の工夫を取材しました。

今後も YouTube チャンネル「あぐりまにわ」では真庭地域の農業の魅力を発信していきます。



YouTube チャンネル「あぐりまにわ」



就農希望者へトマトの魅力を配信



白ねぎ収穫作業のポイントを配信

【4】酒粕を利用した「真庭雄町」で循環型農業をPR！

真庭雄町生産部会では、勝山地区の御前酒蔵元・辻本店の協力を得て、日本酒の副産物である酒粕を利用した酒米「真庭雄町」の栽培に取り組んでいます。

4月中旬に、水に溶かした酒粕を10a当たり約100kg散布し、基肥も追肥も施用せずに栽培しています。生育初期は慣行栽培と比べて劣るものの、倒伏が少なく登熟が高まったことで、慣行栽培以上の収量を得ることができました。

6月には、消費者を招いて田植体験交流会を開催しました。「雄町」の由来や酒粕を利用した循環型農業の取組を紹介し、参加者に酒粕を田んぼに散布してもらいました。

11月には、辻本店主催の御前酒まつりにおいて「真庭雄町」で醸造した限定酒の試飲や販売、チラシの配布を行い、酒粕利用による循環型農業をPRしました。

今後も、「真庭雄町」の生産振興を図るとともに、循環型農業を推進していきます。



消費者による田植体験交流会



御前酒まつりにおけるPR活動

【5】真庭地域の花が夏を彩る！－新規栽培者確保の取組－

真庭地域はソリダゴ、りんどう、小ぎく、ひまわり、ブプレウラム、クレマチス、おみなえし等の夏の切花の産地強化を目指しています。

真庭市主催の「真庭いきいき帰農塾」ではJA晴れの国岡山まにお南部花き生産組合・JA晴れの国岡山蒜山花卉部会と連携してソリダゴ、りんどう、クレマチスの栽培方法紹介や作業体験を通じて、新規栽培者の確保と栽培面積拡大を目指しました。

また、地元の子供たちに真庭地域の切り花を知ってもらうため、蒜山、真庭南部、新庄で生産された花を使い小学校でフラワーアレンジ体験講座を行いました。小学生からは「地元の花の産地があることがわかった」「作品を家の人に早く見せたい」などの声が聞かれ、楽しんでくれました。



りんどうの切花適期を説明



小学生に地元産地の花を紹介

【6】簿記・税務研修会で経営改善を支援しています

新規就農者や認定農業者等の経営管理能力の向上を目的に、簿記と税務研修会を開催しました。

簿記研修会は3回シリーズで開催し、複式簿記の説明や、記帳に便利な会計ソフト（ソリマチ農業簿記）の紹介、実際にパソコンを使った簿記の入力操作の体験を行いました。参加者からは「説明が丁寧でわかりやすかった」、「便利な機能があって楽にできた」などの感想がありました。

税務研修会は、税理士から青色申告の手続きと特典、税制改正や消費税インボイス制度について説明があり、参加者からはこれらの対応に関する質問が多く寄せられました。

今後も、研修会の開催を通じて生産者の経営改善につながるよう支援していきますので、お気軽にご相談ください。



パソコン簿記を体験する生産者



税理士の話を熱心に聞く生産者

【7】飲食店等営業許可や乾燥加工について研修会を開催しました

6次産業化に取り組む生産者の相互交流と連携強化を図るため、「6次産業化スキルアップ研修会」を津山・真庭・勝英農業普及指導センターが合同で開催しました。

7月は「営業許可取得の考え方」をテーマに開催し、飲食店と農家民宿を営む勝央町の生産者から、低予算で自宅をDIYした事例が紹介され「ビジョンをしっかりと持つことが重要」と説明がありました。真庭地域からは果樹生産者が参加し、具体的に工夫した点に質問が集中していました。

12月は「乾燥加工でビジネスチャンス」をテーマに開催し、乾燥機メーカーから「乾燥することにより新たな用途が生まれ、長期保存性が食品ロス削減になること」、「ドライフラワーなど食品以外の活用法」等、幅広い話を聞くことができました。

真庭地域からは、干し芋や干し柿、乾燥きのこの生産に取り組む生産者が参加し、研修会終了後も品目ごとの相談や意見交換がありました。



営業許可取得の工夫点を伝授



乾燥食品の可能性について意見交換

Ⅲ 技術の紹介

【8】黒大豆における病害虫防除方法の検討

近年、病害虫防除等で農業用ドローンの導入が拡大しています。ドローンはラジコンヘリより安価で重量も軽いため扱いやすく、従来の動噴等の防除方法と比較して労力の大幅な軽減を図ることができます。

北房地域では黒大豆の栽培が盛んですが、防除作業にかかる労力が生産者の負担となっています。負担軽減には、ドローンの導入が有効と考えられますが、ドローンは散布薬量が少ないことや防除効果が不安だという声があることから、ドローンと動噴の作業時間及び防除効果について比較実証しました。

実証結果では、10a当たりの作業時間が、ドローンは約2分20秒、動噴は約10分となり、ドローンは動噴の2割程度に時間短縮できていることが確認できました。防除効果については、ハスモンヨトウに対して動噴と同等程度の効果が認められました。

今後も生産者の負担軽減に向け、管理作業の効率化の実証を続けていきます。



ドローンによる防除

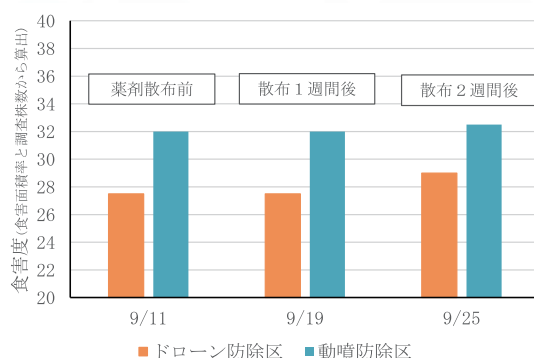


図 ハスモンヨトウ防除効果

【9】蒜山の「イエローダイヤモンド®」の安定生産に向けて

蒜山地域では冷涼な気候を活かしたスイートコーン栽培が盛んで、JA晴れの国岡山蒜山アグリセンターではイエロー品種を「イエローダイヤモンド®」として宣伝、販売し、高い評価を得ています。

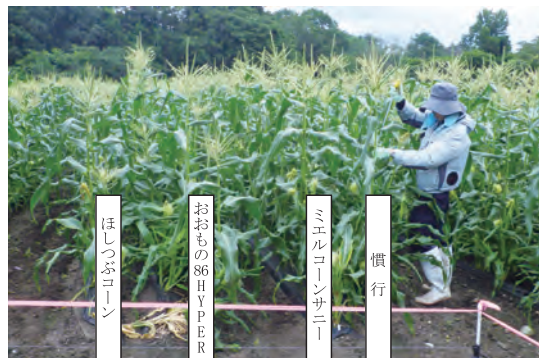
しかし、夏期の高温による生育不良や品質低下が近年問題となっています。そこで、地域に適した品種(※)を検討するため、4～5月播種の作型で慣行品種「恵味スター」と品種比較実証をしました。

「ミエルコーンサニー」は、全作型を通じて生育や雌穂重量が良好であり、「ほしつぶコーン」は、糖度と食味評価が、慣行品種に次いで優れていました。

今回の実証では有望品種を選定するには至りませんでしたが、今後も継続して実証していくとともに栽培技術の向上も図っていきます。

※品種比較した実証品種：

「ミエルコーンサニー」「ほしつぶコーン」「あまいんです」
「おおもの86HYPER」「ミルキースイーツ84FT」



品種比較実証



上：「ミエルコーンサニー」(平均345g)
下：「ほしつぶコーン」(平均318g)

【10】白ねぎの生育促進に向けた腐植酸資材の実証

蒜山地域では夏季冷涼な気候を活かし、夏秋どり白ねぎ産地として8月から出荷しています。近年、温暖化による天候不順等の影響で初期生育が不良となり、出荷初期の出荷量が伸び悩んでいます。そこで、育苗期に根の活性を高めて定植後の生育を促進させ、初期の出荷量を確保することを目的に、腐植酸資材の有効性を実証しました。

実証では腐植酸資材を育苗期間中に3回、定植後に2回施用し、生育や収量・品質について調査しました。

実証結果では、腐植酸資材の施用により初期から生育が促進され、収量や品質が高まることわかりました。腐植酸資材の有効性が確認でき、収穫初期の出荷量向上に加え、収益性の高い2L規格以上の比率向上に寄与すると考えられます。

今後は、実証結果を生産者に周知し、産地での活用を図り、白ねぎの高品質安定生産を支援していきます。

表 収量調査

	葉鞘長 cm	葉鞘径 mm	軟白長 cm	調整一本重 g	換算収量 kg/10a
実証区	31.9	26.4	29.2	183.0	4,619
慣行区	29.3	22.2	27.6	168.1	4,053

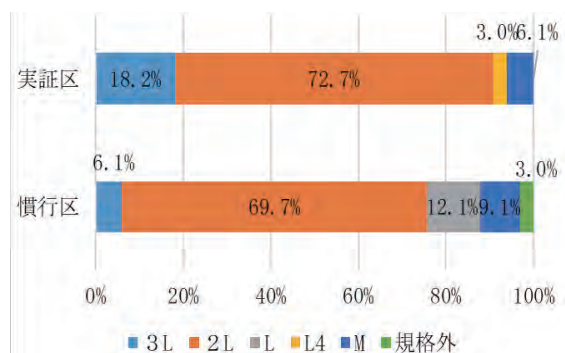


図 規格別割合

【11】夏秋トマト裂果軽減品種「桃太郎みなみ」の検討

真庭市北部の主要品目である夏秋トマトでは梅雨明け以降に放射状裂果が発生し、安定生産が困難となっています。そこで、慣行品種「桃太郎ワンダー」よりも裂果発生程度が少ないとされる新品種「桃太郎みなみ」の収量性や果実品質、粗収入等を調査しました。

実証結果では、10a当たりの収量は「桃太郎みなみ」が7.13t、「桃太郎ワンダー」が7.22tでした。

「桃太郎みなみ」はM、S規格中心と小玉傾向でしたが、放射状裂果が少ないため秀品率が高く、10a当たりの粗収入は同程度（「桃太郎みなみ」3,506千円、「桃太郎ワンダー」3,512千円）となりました。

今後は、「桃太郎みなみ」の果実肥大を促すために摘果やかん水管理を検討し、新品種導入を支援していきます。

表 裂果発生程度調査

	裂果発生程度 (%)			
	0	1	2	3
桃太郎みなみ	87	9	3	1
桃太郎ワンダー	60	28	9	3

裂果程度0：なし 1：優品相当
2：A品相当 3：規格外相当



上：桃太郎みなみ 下：桃太郎ワンダー

【12】 蒜山地域に適した牧草の草地実証

蒜山地域では、冷涼な気候と広大な草地を活かし、複数回刈取での牧草生産が行われています。一方で、近年では温暖化による夏枯れ等で、主要牧草であるチモシー等の収量減少が課題となっています。そこで県民局畜産班では、猛暑に負けない蒜山地域に適した品種の選定・栽培方法検討のため、令和4年度から2年間、酪農家と連携し草地実証を行いました。

実証の結果、単年性のイタリアンライグラスやハイブリッドライグラスの生育は1番草から良好で、最終的な収量はライグラス系の方がチモシーよりも高い結果となりました。チモシーについて、2番草の遅刈により次年度の収量増加を期待しましたが、効果はありませんでした。また3番草については、収量調査未実施ですが、猛暑により3番草が全滅したと一部の酪農家から報告を受けているほど、夏枯れによる収量減少が深刻化しています。

今後の自給飼料生産について、嗜好性の良いチモシーだけでなく、収穫時期が異なり高収量なライグラス系牧草を組み合わせるなど、効率的な牧草栽培を生産者に提案していくことで、自給飼料増産による持続可能な畜産経営を推進していきます。

※チモシーについては2番草で遅刈を実施
() 内は播種年

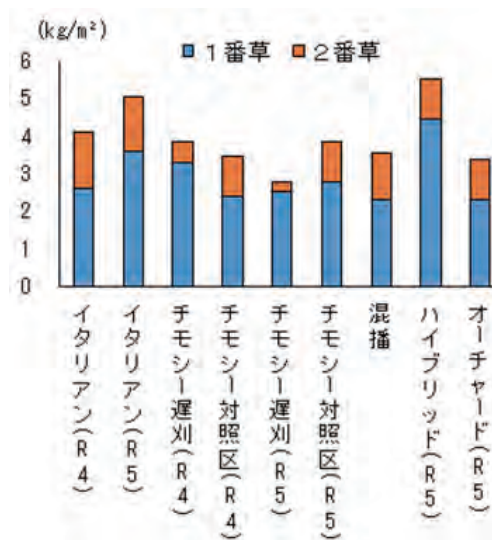


図 令和6年度収量調査

【13】 登はん防止電気柵で食害を防げ！

北房地区では高品質なぶどう栽培が行われていますが、ほ場の多くが山沿いにあるため、成熟期前後に野生動物による食害に悩まされてきました。特にハクビシンやテン等の中小型獣類は、園地への侵入を防ぐのが難しく、ぶどうの樹の主幹から樹上へと登り食害が発生していました。

そこで、野生鳥獣対策連携センターの協力のもと、樹上への登はん防止電気柵を設置し効果を検証しました。

登はん防止電気柵は、ぶどうの樹の主幹部に絶縁体を巻き、その上に電線を巻いた通電部を設置することで、主幹部から樹に登ろうとした動物が感電する仕組みとなっています。設置していたぶどう園では中小型獣類による食害は減少しており、登はんを中断する様子も撮影されました。

被害軽減効果は確認されたものの、通電部や絶縁資材に用いる素材は改良の余地があるため、今後も検証を進めていきます。



登はん防止電気柵の設置



登はんを中断するテン（センサーカメラで撮影）

IV 新規就農者の紹介

【14】はじめまして！よろしくお願いします ～新規就農者の紹介～



片山 光悦 さん

エリア：真庭市久世地区 作 目：露地果樹（ぶどう、梨）

実家のぶどうづくりに興味を持ち就農しました。今は、新品種を研究しながら作業分散ができないか試行錯誤しています。将来は、現在の規模で最大の利益が上がるよう取り組んでいきたいです。



川西 祐巨 さん

エリア：真庭市落合地区 作 目：露地果樹（ぶどう）

学生の頃、自然の中で仕事をしたいと考えるようになり、自分の力で生活できる農業に惹かれ就農しました。ピオーネを主体にシャインマスカットと瀬戸ジャイアンツなどの品種を組み合わせながら規模拡大し、安定経営を目指していきたいです。



美甘 栄治 さん

エリア：真庭市蒜山地区 作 目：施設・露地野菜

先輩農業者の姿を見て、自分の裁量で仕事ができる農業に魅力を感じ就農しました。当初は、白ねぎを中心の経営でしたが、天候に左右されない施設も必要と考え、ミニトマトを柱にスイートコーンなどの複合品目で年間通じて所得が確保できる体系に替えて、安定した農業経営を図っていききたいです。



山田 真嗣 さん

エリア：真庭市落合地区 作 目：施設・露地野菜

農家の叔父や知り合いの農家さんの話を聞いているうちに、ビジネスとしての農業の魅力や、やりがいを感じるようになり、就農しました。今年は、ナス5a、春菊2a、ブロッコリー20a、白菜1.5a、大根1.5aを栽培しています。将来的には、年間を通じて出荷できる栽培体系を確立したいです。

V 受賞者の紹介

【15】祝！受賞！おめでとうございます

《令和6年度農事功績表彰者》

緑白綬有功章

三船 進太郎さん(真庭市)

昭和58年に就農されて以降、自然養鶏と水稻の有機栽培に取り組まれており、蒜山地域の有機農業の先駆けとなりました。試行錯誤を繰り返しながら、地域に適応したアイガモ農法による水稻有機栽培技術を確立し、地域のモデルとなる土地利用型農業を実現されています。

また、有機農産物生産組合や集落営農組織の設立等により地域の農業者が交流する場を積極的に設け、地域農業の維持・発展に大きく貢献されています。

現在では、自然養鶏で発生した鶏ふんを水稻の肥料として、水稻栽培で発生したくず米を鶏の餌として活用する循環型農業に取り組み、持続性の高い農業を実践されています。



《第71回矢野賞》

片沼 慶介さん(真庭市)

大学を卒業後、民間企業勤務を経て、祖父のぶどう栽培を継承し、平成26年に就農されました。計画的にシャインマスカットやオーロラブラックを導入し、品種の組合せにより規模拡大を実現しておられます。特に、シャインマスカットは徹底した管理技術により所属するJA晴れの国岡山びほくぶどう生産部会でもトップクラスの秀品率を誇っています。

青年農業者クラブ活動では、地方協議会の会長を務め、県内で初めてぶどうせん定枝のバイオ炭製造に取り組むなど、産地の新たな取組にも挑まれています。

地域では、2年間の準備期間を経て部会北房支部に若手ぶどう生産者の交流の場となる「青年部」を立ち上げ、初代会長として積極的な活動を牽引し、産地活性化に貢献されています。



《第51回全国酪農 青年女性酪農発表大会》
最優秀賞（農林水産大臣賞）
筒井 省悟さん（真庭市）

（公財）中国四国酪農大学校を卒業後、酪農ヘルパーとして約20年の実践経験を積んだ後、令和2年に、地元蒜山の酪農場を第三者継承で引き継がれました。

継承後は、ヘルパーの経験を活かした徹底した衛生管理やデータに基づく個体管理により、良質な生乳を安定的に出荷されています。

また、飼料用トウモロコシの共同収穫組織を仲間と立ち上げたり、母校のヘルパー研修に協力するなど、人との繋がりを意識した地域活動にも積極的に取り組まれています。

第三者継承のモデルとして、若い担い手の良きアドバイザーとしても今後の活躍が期待されています。



《第 57 回岡山県農林漁業功労者》
農林水産部長表彰（農産部門）
岡村 美昭さん（真庭市）

蒜山地域でキャベツやミニトマト、スイートコーンの複合経営に励まれています。ミニトマトの部会長を務めた際は産地一丸となって生産振興を図り、岡山県農林漁業近代化表彰を受賞されました。新規就農者を自らのほ場に招いての栽培指導や試験研究機関と連携した実証試験にも熱心に取り組まれています。また、地域住民や関係機関からの信頼も厚く、地域の将来を担う人物として期待されています。



《第 57 回岡山県農林漁業功労者》
農林水産部長表彰（農産部門）
槇橋 一夫さん（真庭市）

蒜山地域で白ねぎやミニトマト、キャベツを栽培され、各品目で高い技術力を有し、複合経営により安定した経営を実現されています。白ねぎでは研修会での研修ほ場に選定され模範的な生産者として産地の技術向上に寄与されています。また、新規栽培者への技術支援など、担い手の確保・育成にも尽力され、地域農業の発展に貢献されています。



《畜産功労者表彰》

●知事感謝状 丸山 隆史・弘子夫妻(真庭市)

多年にわたり蒜山酪農農業協同組合の理事として、組合員の飼養管理技術向上やジャージー牛乳・乳製品のブランド力向上に取り組まれました。

弘子さんは、県農業士としても地域の農業振興に尽力するなど、夫婦で力を合わせ、本県の酪農振興に大きく貢献されています。



《第79回岡山県畜産共進会》

●団体優勝 優勝（乳牛の部） 真庭市

●個人優勝 ジャージーチャンピオン（有）万庭牧場(真庭市)



《岡山県茶品評会》

●岡山県知事賞 梶岡 さおりさん(真庭市)

●全国茶生産団体連合会会長賞 有限会社 寿園(真庭市)

●全国農業協同組合連合会岡山県本部長賞 梶岡 章さん(真庭市)



《岡山県花き共進会》

●奨励賞 佐藤 裕司さん(真庭市)



VI 新任農業士の紹介

【16】令和6年度に農業士に就任された方をご紹介します！

入澤 富士子 さん

住所：真庭市蒜山上長田
品目：酪農

今年で就農27年目になりました。現在、乳用牛120頭を飼育しており、牧草23haを栽培しています。蒜山の広大な土地を有効に利用して牧草を作り、堆肥を還元して豊かな緑を守っていきたいと思っています。

蒜山酪農農業協同組合で、主に小学生を対象に酪農ガイドをしています。子供達には牧場体験を通して酪農の知識を広め、牛とのふれあいを経験してもらいたいです。また、県内の農業士の方々と交流し、見識を深めていきたいです。



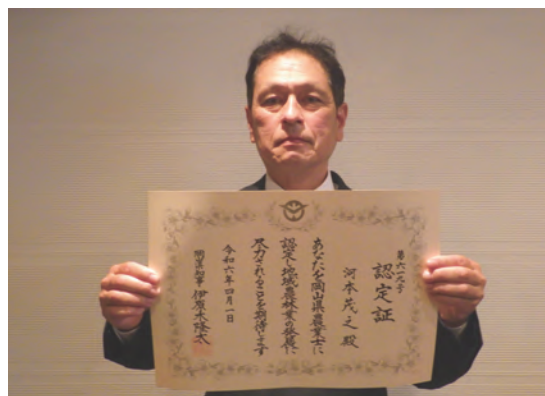
河本 茂之 さん

住所：真庭市下河内
品目：果樹（ぶどう）、水稻

令和2年に父親の後を継いで就農し、ぶどう1ha、水稻35aの経営を行っています。

ぶどうは、加温ハウスと簡易被覆栽培を組み合わせた栽培体系により、労働分散を図りながら高品質な生産に努めています。また、当初から色々なぶどうを栽培したいという考えで、シャインマスカット以外に10種類以上のぶどうを栽培しています。楽しい農業を心がけ日々奮闘しています。

農業を取り巻く情勢は厳しく、年々元気がなくなっているのが現状です。少しでも地域に明るさが戻り、活力ある農業になるよう頑張ります。



【問い合わせ先】

【岡山県美作県民局 農林水産事業部】

○真庭農業普及指導センター

〒717-8501 岡山県真庭市勝山 591

担い手・農産班 TEL 0867-44-7582

園芸班 TEL 0867-44-7583・7585

FAX 0867- 44-4046

e-mail : maniwa-fukyu@pref.okayama.lg.jp

HP : <https://www.pref.okayama.jp/soshiki/127/>



ホームページ



YouTube

真庭農業普及指導センター

検索



YouTube チャンネル「あぐりまにわ」 **☆チャンネル登録を☆**

https://www.youtube.com/channel/UC4V0Z_6vjxDEqZcR-MCC6dg/featured

○農畜産物生産課

〒717-8501 岡山県真庭市勝山 591

畜産第二班 TEL 0867-44-7564

FAX 0867-44-4754

○美作広域農業普及指導センター

〒708-8506 岡山県津山市山下 53

革新農業推進班 TEL 0868-23-1496・1513

FAX 0868-23-5962

e-mail : tsuya-fukyu@pref.okayama.lg.jp